

2021年度 地理環境学科 卒業論文発表会プログラム

日時:2月3日(木)9:00~17:36

会場:Zoom

順	発表時間	発表者	研究室	タイトル
1	9:00-9:15	平井 匠	気候	台風の日本上陸は株式トレーダーの売買判断に影響を及ぼすのか
2	9:16-9:31	田中 宏沖	地形・地質	御殿場泥流堆積物の形成過程に関する再検討
3	9:32-9:47	大和田 周	気候	冬季東アジアモンスーンに伴うコールドサージの伝播過程に大規模山塊が及ぼす影響
4	9:48-10:03	竹内 康貴	都市・人文	GTFSデータを用いた到達圏分析-神奈川県横浜市山手・本牧地区を例として-
5	10:04-10:19	舘野 水希	地理情報	ロシア・トムスク地域における土地被覆の変化に関する研究
休憩				
6	10:25-10:40	青山 実樹	気候	高解像度気象シミュレーションによる関東のダウンバーストの研究
7	10:41-10:56	稲垣 京佑	地理情報	河川氾濫時の避難行動シミュレーション~ロシア・トムスク市を事例に~
8	10:57-11:12	廣嶋 恵美	気候	都市化率と相対湿度の経年変化
9	11:13-11:28	西田 菜歩	地理情報	バリオグラムを用いた降水量の空間代表性に関する研究-平成24年7月九州北部豪雨を事例に-
10	11:29-11:44	中川 聖那	都市・人文	宇都宮市における都市のスポンジ化の現状と課題
11	11:45-12:00	水井 力輔	環境地理	東京都の都市公園におけるナラ枯れ進行状況の把握と防止対策の検討
昼休憩				
12	12:50-13:05	庭山 菜緒	地理情報	新潟県中越地方における土砂災害の危険性の評価 -決定木分析を用いて-
13	13:06-13:21	野元 涼司	気候	GPM降水レーダデータを用いた降水頂高度と降水強度の季節変化
14	13:22-13:37	石川 勝基	都市・人文	プレミアリーグにおけるチャントの特徴-チェルシーとトッテナムを比較して-
15	13:38-13:53	種市 昇悟	都市・人文	岩手県沿岸部における復興道路・復興支援道路開通による住民の購買圏変化
16	13:54-14:09	小梁 拓真	都市・人文	東京大都市圏におけるサテライトオフィスの立地展開-コロナ・パンデミックによる影響と今後の課題-
休憩				
17	14:15-14:30	仙石 和正	気候	関東平野におけるCold-Air Dampingの気候学的特徴
18	14:31-14:46	松谷 凌太	地形・地質	常磐海岸北部に分布する海成段丘構成層の堆積学的研究から推定された最終間氷期の古地理変遷
19	14:47-15:02	本多 真奈香	環境地理	福島県いわき市海岸林における混交林化の過程
20	15:03-15:18	橋 翼	環境地理	湘南海岸における海浜植生の立地環境
21	15:19-15:34	野田 真史	都市・人文	出店規制が大型店の立地と地域に与える影響
休憩				
22	15:40-15:55	小篠 亮太	気候	インド洋ダイポールモード現象発生時の大気循環場とENSOによる複合影響
23	15:56-16:11	簗島 理香	気候	梅雨期の降水活動の経年変動とアジアモンスーンの大気循環場
24	16:12-16:27	尾鷲 凌子	環境地理	土地改変とその後の植生遷移が土壌生成に与える影響について -福島県駒止湿原周辺の農地開拓跡地を対象に-
25	16:28-16:43	安田 奈央	都市・人文	福岡市都心部における地下街の役割と変化-天神地下街を事例として-
休憩				
26	16:48-17:04	大平 陸人	都市・人文	岐阜県における平成の大合併による市町村の財政状況の変容
27	17:05-17:20	高橋 彩花	都市・人文	フィクション作品における舞台描写に関する研究-はやみねかおる作品を主な事例として-
28	17:21-17:36	村木 亮太	都市・人文	ご当地ナンバーの導入地域からみる地域振興への影響について

・卒論発表は、1人当たりの発表時間が15分(発表12分+質疑応答3分)です。

・交代時間を1分設けていますが、スムーズな進行により時間が短くなる場合があります。予定時刻よりも順番を優先してください。

・本発表会は、博士前期課程の【特別セミナー】および学部3年【基礎課題研究】に該当します。出席者はZoomのチャットにフルネームを書いてください。

・学部生も興味のある方は遠慮なく参加して下さい。(参加希望の場合は、教務委員長(川東)または教室教員までメール連絡し、Zoom情報を取得した上で、参加できます。)